

StudyplusAPI 利用規約(以下「本規約」といいます。)は、スタディプラス株式会社(以下「当社」といいます。)が提供する Studyplus (以下「当社サービス」といいます。)の API(以下「本サービス」といいます。)を、外部アプリケーション、ウェブサイト、その他サービスなど(以下「Studyplus 連携アプリケーション」といいます。)の開発者(以下「デベロッパー」といいます。)が利用する際の各種条件を定めるものです。本サービスの利用に際しては、Studyplus 利用規約(以下「原規約」といいます。)及び本規約の全文をお読みいただいた上で、それぞれに同意いただく必要があります。なお、本規約は、原規約第2条第2項の「個別規約」として位置づけられます。

第1条(規約の適用)

- 1.本規約は、全てのデベロッパーに適用されます。本規約に同意いただけない場合、本サービスを利用することはできません。本サービス内には、本規約以外に、個別のサービスや機能のドキュメントとして利用方法や注意事項(以下「個別の規定」といいます。)が記載されている場合があります。本規約と個別の規定の内容が相違する場合には、そのサービスあるいは機能を利用する場合においては、後者が優先されるものとします。デベロッパーの Studyplus 連携アプリケーションの利用者が、本サービスを利用して開発されたアプリケーションなどを経由して Studyplus を利用する場合は、当該利用者に対しても別途原規約が適用されます。
- 2.デベロッパーは、本サービスを利用することにより、原規約及び本規約のすべての記載内容について同意したものとみなされます。

第2条(規約の変更)

- 1.当社は、本規約をいつでも任意に変更することができ、デベロッパーはこれを承諾するものとします。当社が別途定める場合を除き、本規約の変更は、本サービスのサイト(以下「本サイト」といいます。)への掲載またはメールの送信によって随時デベロッパーに発表するものとし、当該掲載またはメール送信をもって効力が生じます。デベロッパーが本規約の変更を同意しない場合、デベロッパーは本サービスを利用することはできません。
- 2.本規約が変更された場合、デベロッパーに、変更後の利用規約について承諾を求めることがあります。

第3条(本サービスの提供)

当社は、デベロッパーに対し、本サービスを提供致します。本サービスにおけるサービスの具体的内容は、別途定める StudyplusAPI ドキュメントの内容によります。

第4条(デベロッパーの責任)

- 1.デベロッパーは、自らの責任と費用において、ハードウェア、ソフトウェア、インターネット接続回線、セキュリティの確保等、本サービスの利用に必要な環境(以下「利用環境」といいます。)を整備します。当社はデベロッパーの利用環境について一切関与せず、これらの準備、操作に関する責任を負いません。
- 2.デベロッパーは、自己の利用環境に応じて、コンピューター・ウィルスの感染の防止、不正アクセスの防止及び情報漏洩の防止など、適切なセキュリティ対策を講じることとします。
- 3.デベロッパーが開発したアプリケーションなどや、本サービスを利用して得られたStudyplusの情報の使用・保管に関して、第三者から問い合わせ、申立て、請求、提訴など(以下「問い合わせなど」)を受けた場合には、当該デベロッパーは自身の費用と責任において問い合わせなどに対応し、解決しなければ

ばならず、当社は一切の責任を負いません。デベロッパーは開発したアプリケーションなどの公開の際、必ず責任の所在が当該デベロッパーにある旨を明示し、個別に連絡が取れる手段を公開するものとします。また、本サービスを利用して開発されたアプリケーションに関して当社あてに問い合わせなどがあった場合、当社からは開発を行ったデベロッパーに直接問い合わせなどを行うよう案内を行うものとし、デベロッパーはこれに同意することとします。

第 5 条(知的財産権等)

- 1.本サービスおよび本サービスにて提供される各機能の財産権は当社に帰属し、本サービスを利用して得られるStudyplus内の情報の著作権その他の権利の所在については、原規約にて定める通り、当該情報の投稿を行った発信者自身に帰属します。デベロッパーは、本規約に基づいて、本サービスを利用することができますが、提供される本サービスに関する知的財産権等を取得するものではありません。そのため、デベロッパーが第三者に対し譲渡及び使用許諾をすることはできません。
- 2.デベロッパーは、個別の規定で定める場合を除き、本サービスの一部または全部を、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、又は逆アセンブラ、その他本サービスを解析しようとして試みてはならないものとします。

第 6 条(利用目的)

- 1.デベロッパーは、本規約に反しない目的で本サービスを利用することができます。デベロッパーは、本サービスを、その全部又は一部を問わず、営業活動その他の営利を目的とした利用若しくはそれに準ずる行為又はそのための準備行為として利用できます。Studyplus連携アプリケーションは、当社が特別に認めた場合を除き、その利用者の学習を目的とした教材となるアプリケーションであるものとします。

第 7 条(利用資格)

- 1.本サービスをご利用いただくには、先に当社規定の審査を受けていただいた上で、利用契約を結ぶ必要があるものとします。ご利用のお申し込み方法についてはStudyplusAPIご利用までの流れを参照してください。
- 2.利用契約が終了した場合、本サービスの利用資格は失われます。本サービスの利用契約の終了によってデベロッパーに生じる損害については、当社は一切責任を負いません。

第 8 条(認証情報の管理等)

- 1.本サービスを利用するにあたり、当社よりAPIアクセストークンを発行されることが必要となります。デベロッパーは、発行されたAPIアクセストークンを厳重に管理するものとし、第三者に知られないようにしなければなりません。第三者にAPIアクセストークンを知られた可能性がある場合、デベロッパーは直ちに当社にAPIアクセストークンの再発行を依頼するものとします。
- 2.当社は、APIアクセストークンにより本サービスが利用されているときは、当該APIアクセストークンを発行されたデベロッパー自身が本サービスを利用しているものとみなします。

第 9 条(連絡について)

- 1.当社からデベロッパーへの連絡は、書面の送付、メールの送信、または本サイトへの掲載等、当社が適当と判断する通信手段によって行います。当該連絡が、メールの送信又は本サイトへの掲載によって行われる場合は、インターネット上に配信された時点でデベロッパーに到達したものとします。
- 2.デベロッパーから当社への連絡は、当社に対する問い合わせが必要な場合は、所定の問い合わせフォームまたは以下のメールアドレスへのメールの送信をもって行うものとします。それ以外の手段からの連絡については、当社は一切対応しないものとします。

メールアドレス: studyplus-api.contact@studyplus.jp

第 10 条(個人情報の取り扱いに関して)

当社は、本サービスを提供するにあたり必要となる最小限の情報をデベロッパーから取得します。当社は、デベロッパーから取得したプライバシー情報の保護に最大限の注意を払います。当社のプライバシーに対する考え方の詳細については、プライバシーポリシーを参照してください。

第 11 条(本サービスの中断)

当社は以下の各号の一に該当する場合には、デベロッパーに事前に連絡することなく、一時的に本サービスの提供を中断する場合があります。デベロッパーは、このことを了解の上で本サービスを利用するものとします。

- ・本サービスのシステムの保守を定期的に、または緊急に行う場合
- ・火災、停電、事故などにより本サービスの提供ができなくなった場合
- ・地震、噴火、洪水、津波などの天災により本サービスの提供ができなくなった場合
- ・戦争、変乱、暴動、騒乱、労働争議などにより本サービスの提供ができなくなった場合
- ・予想外の技術的問題
- ・その他、運用上、技術上、当社が本サービスの一時的な中断を必要と判断した場合

第 12 条(デベロッパーの都合による本サービスの停止)

当社は、デベロッパーに、以下各号に定める停止事由が存する場合、各号に定める再開事由が生じるまでの間、本サービスの提供を停止することがあります。

(1) 原規約違反

- i.(停止事由)原規約に違反した場合において、違反状態が是正されないと
- ii.(再開事由)原規約の違反状態が是正されたこと

(2) 本規約違反

- i.(停止事由)本規約に違反した場合において、違反状態が是正されないと
- ii.(再開事由)本規約の違反状態が是正されたこと

第 13 条(本サービスの廃止)

- 1.当社は、当社がやむを得ないと判断する事由が発生した場合には、本サービスの提供を廃止することがあります。本サービスを廃止する場合には、あらかじめ、ウェブサイトにおける告知その他適宜の方法によりデベロッパーに通知致します。ただし、緊急その他やむを得ない事情がある場合はこの限りではありません。
- 2.本サービスの廃止によってデベロッパーに生じる損害については、当社は一切責任を負いません。

第 14 条(禁止事項)

1.デベロッパーは、本サービスの利用に際して、故意または過失の有無にかかわらず、自ら、又は第三者を利用して、以下各号に該当する行為を行ってはならないものとします。

・承諾を得ることなく他人の著作物やその複製物を送信する行為、他人のプライバシーや企業秘密に属する事項を送信する行為など、当社もしくは第三者の著作権、商標権等の知的財産権、財産、プライバシーもしくは肖像権を侵害する行為、又はそのおそれのある行為。

・当社、もしくは第三者に不利益又は損害を与える行為、又はそのおそれのある行為。

・第三者の人権を侵害する行為ないし公序良俗に反する行為、又はそのおそれのある行為。

・詐欺・脅迫など犯罪実行の手段や、犯罪の教唆・扇動のために当社サービス及び本サービスを利用するなど、犯罪的行為もしくは犯罪的行為に結びつく行為、又はそのおそれのある行為。

- ・当社サーバに極度の負荷をかけるような態様で本サービスを使用するなど、当社もしくは当社サービス及び本サービスの運営を妨げる行為、又はそのおそれのある行為。
- ・当社もしくは当社サービス及び本サービスの信用を毀損する行為、又はそのおそれのある行為。
- ・当社に対して虚偽の申告、届出を行う行為。
- ・本サービスを通じて、又は本サービスに関連してコンピュータウイルス等、有害なプログラムを使用、又は提供する行為、又はそのおそれのある行為。
- ・法令に違反する行為。
- ・デベロッパーに発行された API アクセストークンを、当該デベロッパー以外の第三者に利用させて本サービスを利用させる行為。
- ・当社の事前の書面による同意なく第三者へ本サービスを利用する地位を貸与、譲渡する行為。
- ・本サービスの一部または全部をリバースエンジニアリング、逆コンパイル、又は逆アセンブラ、その他本サービスを解析する行為。
- ・反社会的勢力等(暴力団、暴力団員、右翼団体、反社会的勢力、その他これに準ずる者を意味します。以下同じ。)の維持、運営若しくは経営に協力若しくは関与する等反社会的勢力等との何らかの交流若しくは関与をする行為。
- ・第三者に対して当社サービス及び本サービスと誤認混同させるようなサービスの開発をしたり、当社との関係について誇張又は虚偽の表示をする行為。
- ・当社サービスを、その全部又は一部を問わず、営業活動その他の営利を目的とした利用若しくはそれに準ずる行為又はそのための準備行為として利用する行為。
- ・前各号の行為を直接又は間接に惹起し又は容易にする行為。
- ・その他、当社が不適當であると判断する行為。

第 15 条(API アクセストークンの削除)

当社は、デベロッパーが、前条各号、その他本規約に定める条項に違反した場合においては、契約者の帰責性の有無にかかわらず、あらかじめデベロッパーに通知することなく、即時にデベロッパーの API アクセストークンを削除し、該当デベロッパーによる本サービスの利用を停止することができます。

第 16 条(データの閲覧・利用・開示・削除に関する合意事項)

- 1.当社は、デベロッパーが本サービス上に送信した情報(以下「送信情報」といいます。)について、細心の注意を払い、安全に管理するよう努めます。デベロッパーは、送信情報に係る著作権を、送信後も引き続き保有します。当社は、デベロッパーに対する本サービスの提供のために必要な範囲に限って、送信情報を複製、翻案、自動公衆送信及びそのために必要な送信可能化その他の利用を行うことができるものとします。
- 2.第 1 項に拘らず、本サービスが本質的に情報の喪失、改変、破壊等の危険が内在するインターネット通信網を介したサービスであることに鑑みて、デベロッパーは、送信情報を自らの責任においてバックアップするものとします。当該バックアップを怠ったことによってデベロッパーが被った損害について、当社は、送信情報の復旧を含めて、一切責任を負いません。
- 3.当社は、以下各号の一に該当する場合には、デベロッパーの送信情報を閲覧・利用し、または第三者へ開示することがあります。
 - ・デベロッパーの同意を得たとき
 - ・捜査機関の令状あるとき、裁判所からの調査嘱託等開示の要求があるとき、行政機関から開示要求があるとき
 - ・法律に従い開示の義務を負うとき
 - ・当社が、デベロッパーが第 14 条に定める禁止事項に該当する行為を行っている判断したとき
 - ・デベロッパーや第三者の生命・身体・その他重要な権利を保護するために必要なとき

- ・当社サービス又は本サービスのメンテナンスのため緊急の必要があるとき
- ・上記各号に準じる必要性があるとき

4.当社は、以下各号の一に該当する場合には、送信情報について、その一部または全部を削除することがあります。当社は、削除された送信情報について、当該情報の復旧を含めて一切責任を負いません。

- ・デベロッパーの同意を得たとき
- ・当社が、デベロッパーが本規約に違反する禁止行為を行っていると判断したとき
- ・本サービス利用契約が終了したとき
- ・第 13 条によって本サービスが廃止されたとき
- ・上記各号に準じる必要性があるとき

5.当社は、前項各号の一に該当する場合には、Studyplus連携アプリケーションを検査することができるものとし、デベロッパーは、これに応じるものとします。なお、当社は、Studyplus連携アプリケーション等を監視する義務を負うものではありません。

第 17 条(本サービス提供のあり方に関する合意事項)

1.当社は、本サービスを、現状有姿の状態を提供します。当社は、本サービスについて、次の各号につき、いかなる保証も行わないものではありません。

- ・本サービスの利用に起因して利用環境に不具合や障害が生じないこと
- ・本サービスの正確性、完全性、永続性、目的適合性、有用性
- ・デベロッパーに適用のある法令、業界団体の内部規則等への適合性

2.当社は、本サービスを、SSL通信による暗号化の下提供致します。デベロッパーは、このセキュリティレベルについて了解するものとします。

第 18 条(免責事項)

1.当社は、当社に故意または重大な過失があるときを除き、以下の各号において一切責任を負いません。

- ・Studyplus 連携アプリケーションに関して、デベロッパーと第三者との間で生じる紛争、クレーム等
- ・Studyplus 連携アプリケーションに起因し、又はその可能性のある事象により生じる本サービスの利用に制限又は障害
 - ・デベロッパーの API アクセストークンが第三者によって使用されたことでデベロッパーが被った損害
 - ・第 11 条の規定による本サービス中断期間中、デベロッパーまたは他者が本サービスを利用できなかったことに関する損害、作業が中断したことに関する損害、データが失われたことに関する損害、本サービスを利用することによって得られたであろう利益を得られなかった損害など、本サービスの利用に際して発生した損害
 - ・第 12 条の規定による本サービス停止期間中、デベロッパーが本サービスを利用できなかったことに関する損害、作業が中断したことに関する損害、データが失われたことに関する損害、本サービスを利用することによって得られたであろう利益を得られなかった損害など、本サービスの利用に際して発生した損害
 - ・第 13 条の規定によって本サービスが廃止された場合、デベロッパーが本サービスを利用できなくなったことに関する損害、作業が中断したことに関する損害、データが失われたことに関する損害、本サービスを利用することによって得られたであろう利益を得られなかった損害など、本サービスの利用に際して発生した損害

第 19 条(責任の制限)

1.本規約における当社の各免責規定は、当社に故意又は重過失が存在する場合には適用しません。2.当社が損害賠償責任を負う場合(前項の場合又は消費者契約法その他の法律の適用による場合等。)、賠償すべき損害の範囲は、デベロッパーに現実に発生した直接かつ通常生じる範囲内の損害に限るものとし、逸失利益を含

むその他の特別損害については責任を負いません。

第 20 条(秘密保持)

デベロッパーは、本サービスに関連して当社がデベロッパーに対して秘密に扱うことを指定して開示した情報について、当社の事前の書面による承諾がある場合を除き、開示目的以外に利用せず、また、第三者に開示しないものとします。

第 21 条(一般条項)

- ・本規約は日本法に準拠します。
- ・本規約の一部が法令に基づいて無効と判断されても、当該一部以外の規約の効力は有効とします。
- ・本サービスに関するデベロッパーと当社との間の紛争については、東京地方裁判所を第1審の専属的合意管轄裁判所とします。

以 上